

平成 23 年 6 月 25 日

2011（平成 23）年度 第 1 回 中国地区英語教育学会 理事会

日時：2011（平成 23 年）6 月 25 日（土）11:30～12:30

場所：岡山大学 教育学部 本館 4 階 407 会議室

○ 出席者：足立和美，田中忠祥，猫田英伸，飯島睦美，宮迫靖静，高橋幸子，高塚成信，能登原祥之，松浦伸和，渡部靖徳，高橋俊章，竹野純一郎

開催に先立ち，高塚会長から挨拶があった。

報告事項

1. 全国英語教育学会理事会

[別紙 1]

高塚会長より，平成 23 年度第 1 回全国英語教育学会理事会が，平成 23 年 3 月 26 日に関西大学で開催され，中国地区英語教育学会からは，高塚会長（理事），宮迫副会長（理事），竹野事務局長（幹事）が出席した旨，報告がなされた。また，事務局より，別紙 1 に基づき，(1) 山形研究大会の概要，(2) 理事会の大まかな内容，(3) 次回の全国英語教育学会理事会は，8 月 19 日に開催される旨報告がなされた。

□ 別紙：平成 23 年度全国英語教育学会第 1 回理事会 議事録 [A4 4 枚]

2. 第 42 回中国地区英語教育学会

事務局より，第 42 回中国地区英語教育学会・研究発表会について，事前参加申込数(60)，発表件数(18)であるとの報告がなされた。また，第 42 回中国地区英語教育学会・研究発表会プログラム(6/8 配布)にエラーがあったため，HP・当日用プログラムでは訂正済みではあるが，総会で訂正してお詫びをする旨報告がなされた。

協議事項

1. 2010 年度会務報告・会計報告

[資料 1・2]

事務局より，資料 1・2 に基づき，2010 年度会務報告・会計報告について説明がなされた。協議の結果，原案通り承認された。続いて，会計監査である小山尚史先生（岡山大学）から，誤りがないことが報告された。

□ 資料：中国地区英語教育学会 2010 年度（平成 22 年度）会務報告 [A4 1 枚]

資料：中国地区英語教育学会 2010 年度（平成 22 年度）会計決算報告書 [A4 1 枚]

2. 2011 年度事業案・予算案

[資料 3・4]

事務局より，資料 3・4 に基づき，2011 年度事業案・予算案について報告および説明がなされた。協議の結果，原案通り承認された。

□ 資料：中国地区英語教育学会 2011 年度（平成 23 年度）事業案 [A4 1 枚]

中国地区英語教育学会 2011 年度（平成 23 年度）予算案 [A4 1 枚]

3. 会則の改正

[資料5]

高塚会長より、資料5に基づき、中国地区英語教育学会会則の改正について説明がなされた。協議の結果、原案通り承認され、総会において承認を得ることとなった。

□ 資料： 中国地区英語教育学会会則（新旧対照表）[A4 2枚]

補足： 第14条 本会則は総会において出席者の3分の2以上の賛成がなければ、変更することができない。（中国地区英語教育学会会則）

4. 平成23・24年度役員名簿の改訂

[資料6]

事務局より、資料6に基づき、「3. 会則の改正」に伴い、平成23年度～24年度の中国地区英語教育学会役員に事務局長が加わり、さらに、会則の第7条に従って表記上の並び順の調整が行われることの確認がなされた。協議の結果、一部修正を行った上で、原案通りとすることとなった。なお、今年度は役員改選の年度ではないため、変更点の確認のみとした。

□ 資料： 中国地区英語教育学会役員（改訂版）（平成23年～平成24年）[A4 1枚]

5. 第38・39回全国英語教育学会での課題研究フォーラム（中国地区担当）

[別紙2]

事務局より、別紙2に基づき、中国地区英語教育学会が担当予定である課題研究フォーラムのテーマおよび担当者について説明がなされ、検討が行われた。課題研究フォーラムの報告締切日（11月末）までにはまだ時間があるため、今後、各理事より意見を募り、テーマおよび担当者の決定を行うこととした。

□ 別紙： 第38・39回全国英語教育学会での課題研究フォーラム（中国地区担当）[A4 1枚]

6. 第43回中国地区英語教育学会の開催

[別紙3]

事務局より、平成24年第43回中国地区英語教育学会研究大会について報告がなされた。協議の結果、第43回中国地区英語教育学会の開催に関しては、原案通り承認された。なお、今後の中国地区英語教育学会研究大会の開催に関しては、中国五県が時計周りの順序で担当することとなった。

□ 別紙： 第43回中国地区英語教育学会の開催 [A4 1枚]

補足： 第43回中国地区英語教育学会

日時：平成24年6月23日（土）

場所：広島大学 教育学部（広島地区担当）

確認： 中国地区英語教育学会研究大会の開催順序；「岡山→広島→山口→島根→鳥取→岡山」

7. 研究紀要論文の公開と著作権の取り扱い

[別紙4]

高橋紀要編集委員長（平成22年度）より、審査の結果、今年度学術論文賞および教育論文賞ともに、該当者がなかったことが報告され、協議の結果、原案通り承認された。その後、別紙4に基づき、中国地区研究紀要をCiNiiで公開する件、および、著作権の扱いに関する問い合わせへの対応について説明がなされた。協議の結果、原案通り承認された。なお、41号より前の中国地区英語教育学会研究紀要を電子化するかどうか、41号より前の中国地区英語教育学会研究紀要を電子化する場合にエラーを付けるかどうか、等については、今後の理事会で協議することとした。

□ 資料： 中国地区英語教育学会紀要をCiNiiを通じて公開する件ほか [A4 1枚]

8. その他

猫田紀要編集委員長（平成 23 年度）より，中国地区英語教育学会研究紀要（42 号）への投稿についての確認がなされた。その際，全国英語教育学会が ARELE の投稿について学会での発表を義務付けないことにしたが，中国地区英語教育学会は CASELE の投稿には学会での発表を義務付けたままにしておくのか、という意見が出された。今後，理事会で協議することとした。